

第7回リカジョ育成賞 -グランプリ候補-

テーマ	チャレンジ化学！生徒実験の充実を基にした生徒の自主的な課題研究への発展
受賞者名	大妻嵐山中学校・高等学校 鈴木崇広

活動紹介	大妻嵐山中学校・高等学校は、埼玉県の中核部に位置する女子校です。私は、2021年から①すべての生徒に対する「生徒実験を多く取り入れた授業」によって、多くの生徒の化学への興味・関心を高め、市民としての科学的リテラシー向上のための化学教育を行い、②生徒の「知りたい、研究したい」という自主性を尊重した「生徒の自主的な課題研究」の指導・支援によって持続可能な社会を担うスペシャリストを育成するための化学（科学）教育を実施しました。生徒が「学ぶこと、知ること、探究・研究することの楽しさ」を実感し、将来の科学技術の発展に寄与する女性を育成することが、本活動の根本的な目的です。生徒実験を主体にした授業により、多くの生徒の化学への興味・関心が大幅に増し、実験レポートの作成によって主体性や、表現力が向上しました。さらに、生徒らの「私たちにもできる」、「私も研究したい」などの研究への憧れや、相乗効果により、自主的に課題研究に取り組む生徒が増えました。生徒が行った研究は、国・内外のコンテスト等において高い評価をいただき、国際学生科学技術フェア（ISEF）に日本代表として出場し、「文部科学大臣特別賞」（2022、2024年）などを受賞したほか、研究成果が米国化学会の学術誌に査読付き論文として掲載されました（2022、2023年）。
PR メッセージ	「私はもともとすごく化学が苦手だったので、そこから考えると成長したと自分でも思います。」、「消極的だった自分を変える大きなきっかけになりました。」など、本活動が生徒の自信につながりました。

全ての生徒

市民としてのリテラシー向上のための 化学教育

年間授業時間の1/3超える生徒実験
グループでの協働・挑戦・基礎力の向上
化学への興味・関心の向上 → 学ぶ意欲の向上



希望者

スペシャリスト育成のための 化学教育

生徒の創造的な探究活動
一歩を踏み出す勇気 未知の課題への挑戦
研究力・表現力の向上 → 全国・国際大会への挑戦



学ぶこと、知ること、探究・研究することの楽しさを実感

生徒の夢の実現・将来の科学技術の発展に寄与する女性を育成